

C

勝海舟、赤坂から「世界の中の日本」を

勝海舟(1823~1899)は動乱の幕末で、赤坂から「世界の中の日本」を見据えて、欧米列強に対抗するため日本に新たな政治体制を築くことを目指し、様々な活動をした。

生まれ育った本所から、23歳で蘭学を本格的に学ぶため赤坂田町④の長屋に転居し、結婚しました。黒船来航に際し「海防意見書」を幕府に上申し、翻訳係として登用されました。

33歳の時に長崎に新設の「海軍伝習所」の学生長に抜擢され、オランダ人教官から操船技術を学び、36歳で日本人だけの海軍学校を設けるため江戸に戻り、氷川神社坂下に邸宅⑤を設けました。

そこから咸臨丸で太平洋を横断して渡米し、アメリカでは世襲でなく誰でも大統領になれるのが近代国家の民主主義と知って驚き、海の外から眺めた体験から「世界の中の日本」の枠組みを作りました。

その考え方に感銘を受けた坂本龍馬は、後に勝海舟の弟子になりました。45歳の時に大政奉還、「衆議」に基づく政治へと期待しましたが、倒幕派は王政復古のクーデターで慶喜の辞官・納地を決定、軍を江戸に向かわせました。

勝は西郷に書状を送り、「徳川は朝廷に恭順なのに兵を向けるとは何事か!」と伝え、江戸を守るため様々な手を打ち、3月14日の西郷隆盛との薩摩蔵屋敷⑥での会談で江戸城総攻撃の中止が最終的に決まりました。

平成28年(2016)、49歳から76歳で亡くなるまで住んだ大邸宅(元氷川小学校の敷地)跡④に、勝海舟と坂本龍馬の師弟像が建立されました。



B

乃木希典 麻布に生まれ、赤坂に住み、青山に眠る

日清・日露戦争で司令官として活躍した乃木希典(1849~1912)は、港区と強いかかわりがありました。明治天皇の大喪の礼の当日、お棺が皇居を離れる礼砲を合図に、赤坂の乃木邸で夫人とともに自決して亡くなりました。

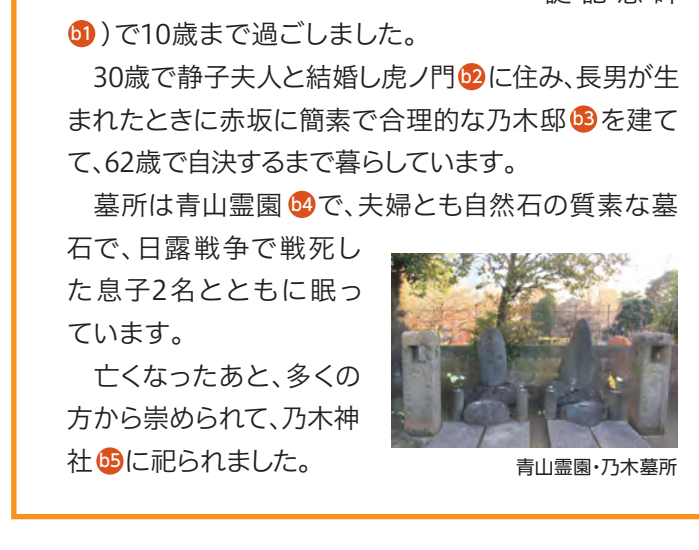
日露戦争の報告を明治天皇の御前で行ったときに、「多くの大切な兵士を亡くしてしまったお詫びに自決させてほしい」と申し出ましたが、明治天皇からは「自分が生きている間に自決はまかりならぬ」と止められて、その約束を守りました。

戦勝の祝賀会やパレードを一切断り、戦死した兵士の遺族に謝りにまわり、那須の農園で農耕生活に勤しんで自責の念を持ち続けていました。日露戦争の戦勝後の水師營の会見で、敗軍の将スッセル司令官に武士の精神で厚く接し、NYタイムズ一面で報じられるなど世界中で称賛されました。

しかし、本人は旅順攻撃で、6万人の兵士を死傷させたことへの責任感で一杯でした。生まれは麻布日が窪の長州屋敷 上屋敷(現在の六本木ヒルズ:さくら坂公園)に生誕記念碑⑦)で10歳まで過ごしました。

30歳で静子夫人と結婚し虎ノ門⑧に住み、長男が生まれたときに赤坂に簡素で合理的な乃木邸⑨を建てて、62歳で自決するまで暮らしています。墓所は青山霊園⑩で、夫婦とも自然石の質素な墓石で、日露戦争で戦死した息子2名とともに眠っています。

亡くなったあと、多くの方から崇められて、乃木神社⑪に祀られました。



A

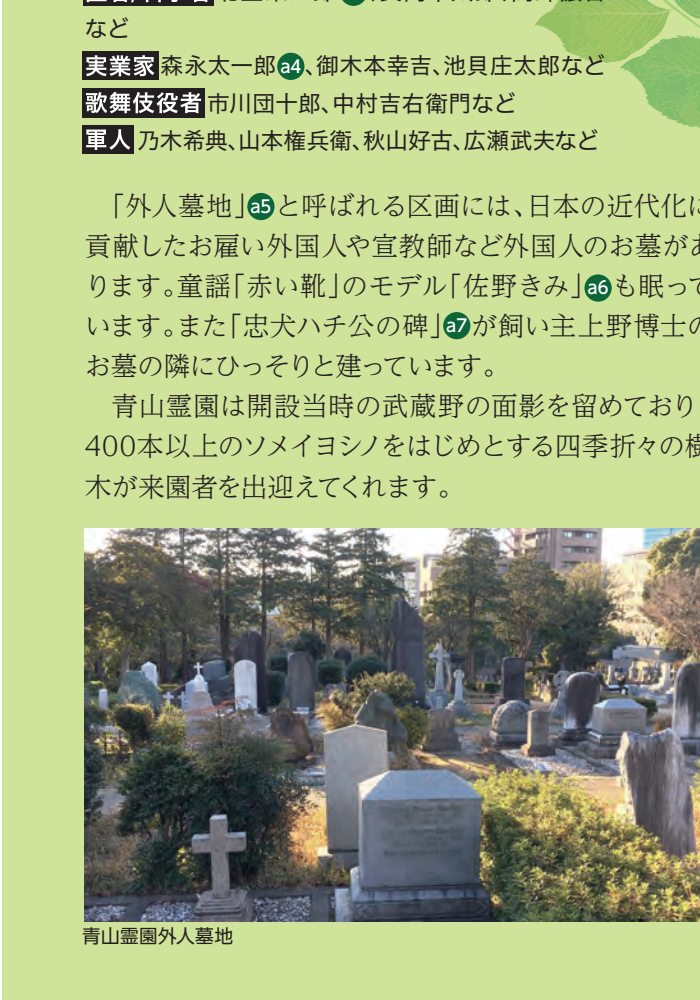
青山霊園に眠る著名人たち

青山霊園は、南青山二丁目一帯に広がる23区最大の霊園です。江戸時代の美濃国郡上藩(現岐阜県郡上市)青山家の屋敷跡に、明治7年(1874)に開園しました。敷地面積26万平方メートル(東京ドーム約5.6個分)、埋葬数は13万体にのびます。ここには以下のような、様々な分野の多くの著名人が眠っています。

明治維新の功労者 大久保利通①、森有礼、後藤象二郎、副島種彦など
 政治家 第2代黒田清隆から第83代橋本龍太郎まで全11人の歴代総理大臣など
 文学者/画家 尾崎紅葉②、志賀直哉、斎藤茂吉、藤島武二、岡田三郎助など
 医者/科学者 北里柴三郎③、長岡半太郎、高峰譲吉など
 実業家 森永太郎④、御木本幸吉、池貝庄太郎など
 歌舞伎役者 市川團十郎、中村吉右衛門など
 軍人 乃木希典、山本権兵衛、秋山好吉、広瀬武夫など

「外人墓地」⑤と呼ばれる区画には、日本の近代化に貢献したお雇い外国人や宣教師など外国人のお墓があります。童謡「赤い靴」のモデル「佐野きみ」⑥も眠っています。また「忠犬ハチ公の碑」⑦が飼い主上野博士のお墓の隣にひっそりと建っています。

青山霊園は開設当時の武蔵野の面影を留めており、400本以上のソメイヨシノをはじめとする四季折々の樹木が来園者を出迎えてくれます。



港区観光ボランティアの会

港区観光ボランティアの会は、港区が実施している育成講座を修了した港区公認のガイドで作られている会です。「広報みなと」などで募集する「参加者募集ツアー」と、お客様の希望する日時にガイドを派遣する「ガイド派遣サービス」を提供しています。詳細は、下記をご覧ください。

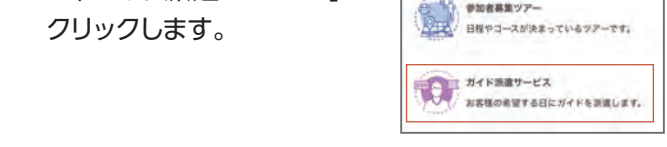
「港区観光協会」ホームページ
<http://www.visit-minato-city.tokyo/ja-jp/>

ガイド派遣サービス申込方法

1 港区観光協会ホームページにアクセスします。



2 右下の「ボランティアガイド」の「ガイド派遣サービス」をクリックします。



3 タイトルの下にツアーのリストが表示されますので、ご希望のツアーをクリックして選び、内容を確認のうえ「お申し込み」の項目を入力して、「送信する」をクリックください。



- 申込人数:原則として2名以上、20名以内(小学生以上)
- 申込時期:希望日の2か月前から20日前まで
- ガイドの手配が難しい場合もあることをご確認ください

ガイドは、港区南青山のJUNKO KOSHINO デザイン監修の法被を着用してご案内します。

公式 SNS では港区の観光情報を日々発信中!



本誌記載の情報は、発行後に変更になる場合もございますので、お出かけの際には、お電話等で事前にご確認いただくことをお勧めいたします。

問合せ先 港区観光協会 ボランティアガイド担当 03-6809-5514(平日9~17時)

発行 一般社団法人 港区観光協会 東京都港区芝5-36-4
 編集 港区観光ボランティアの会 発行年月 令和7年2月

COURSE B1 外苑コース

11 神宮外苑いちよう並木

樹齢100年を超える146本のいちようが、300メートルに渡り4列で植えられています。青山通りより樹高が高い順に植えられており、聖徳記念絵画館を中心とした遠近法による美しい景色は、人気のフォトスポットです。



12 聖徳記念絵画館

明治天皇と昭憲皇太后のご遺徳を永く後世に伝えるために、大正15年(1926)に造られた建物です。館内には、お二人の業績を描いた洋画・日本画40点ずつの壁画が、年代順に展示されています。平成23年(2011)国の重要文化財に指定されました。



13 国立競技場

大正13年(1924)に建設された「明治神宮外苑競技場」が国に譲渡され、「国立競技場」として建て替えられて、昭和39年(1964)東京オリンピックに使用されました。現在の国立競技場は、隈研吾らの設計で東京2020大会に向けて、全国の木材を多用し新たに建設されたものです。



東京2020大会の聖火台
写真提供:独立行政法人日本スポーツ振興センター

14 日本オリンピックミュージアム

日本のオリンピック・ムーブメントの発信拠点として、東京2020大会を機に開館しました。展示や映像を通して、オリンピックの歴史や意義を知り、来館者が体験して学ぶことができます。入り口付近にオリンピックシンボルがあり、記念写真の人気スポットになっています。



22 青山ファッション街

国際的にも有名なブランドショップやセレクトショップが道の両側に立ち並んでいます。個性的な建物が多く、ウインドウショッピングも楽しめます。

15 神宮球場

大正15年(1926)に竣工した、阪神甲子園球場に次ぐ、日本で2番目に古い球場です。学生野球の聖地として知られ、プロ野球東京ヤクルトスワローズの本拠地でもあります。球場周りのアーケードは、イタリアのコロッセオ競技場をイメージして造られています。



16 秩父宮ラグビー場

昭和22年(1947)、空襲で焼失した女子学習院跡地に「東京ラグビー場」として開設されました。昭和28年(1953)、日本ラグビー協会総裁であった秩父宮雅仁親王の薨去により、「秩父宮ラグビー場」と改称され、数々の名勝負の舞台となってきました。



COURSE B2 南青山・表参道コース

21 善光寺

慶長6年(1601)、徳川家により谷中に信州善光寺の別院として設けられましたが、火事で焼失したため、現在の青山に移されました。境内には勝舟舟の撰文による高野長英の碑、明治初期に発明した功を伝える人力車発明記念碑があります。



23 根津美術館

実業家で茶人の根津嘉一郎が蒐集した日本・東洋の古美術を展示するために、昭和16年(1941)に開館しました。現在の本館は隈研吾の設計です。4棟の茶室が点在する庭園は四季の移りかわりが楽しめます。



24 長谷寺

曹洞宗大本山永平寺の東京別院で、慶長3年(1598)に開山されました。空襲で寺全体が焼失しましたが、昭和52年(1977年)に再興されました。現在の高さ3丈3尺(約10m)の麻布大観音は、樹齢600年を超える楠を一本彫りされたもので、木造の観音像としては国内最大級です。



25 紅ミュージアム

最後の紅屋「伊勢半」が運営する、江戸時代から受け継いできた紅づくりの技や紅にまつわる習俗と、日本の化粧史を伝える小さくも盛りだくさんの資料館です。約450点の資料が並ぶ常設展示の観覧や、紅化粧のお試し体験は無料です。



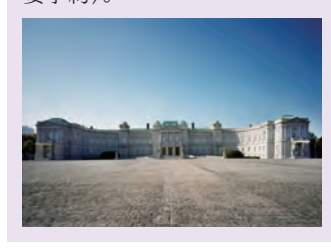
26 岡本太郎記念館

「太陽の塔」で有名な芸術家、岡本太郎が生前50年近く自宅兼アトリエとして暮らしていた家は坂倉準三の設計で、庭にも躍動感にあふれた作品が展示されています。



01 迎賓館赤坂離宮

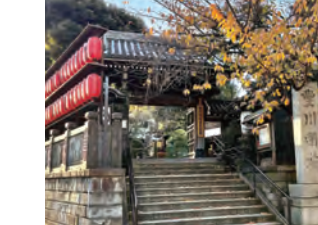
かつて紀州徳川家の江戸中屋敷があったところに、明治42年(1909)に東京御所として建設されたもので、日本における唯一のネオ・バロック様式の西洋風宮殿建築です。戦後、改修され昭和49年(1974)に迎賓館として開館しました。通年で一般公開されており、予約なしで観覧できます(和風別館のみ要予約)。



COURSE B3 赤坂コース

31 豊川稲荷東京別院

愛知県にある豊川稲荷妙厳寺の別院で、大岡越前守忠相が屋敷内に稲荷を祀ったのが始まりです。現在の場所に転移して東京別院になりました。曹洞宗のお寺ですが七福神も祀られ、場所から芸能関係の参拝者が多く訪れます。



32 山脇学園志の門

江戸時代に岡崎藩本多家上屋敷の表門として、現在のKITTE丸の内の場所に建造されたものです。明治になって、霞ヶ関や白金に移転した後、最終的には山脇学園に寄贈され、現在の場所に移築されました。同校生徒の入学、卒業時の志の門として利用されています。



33 赤坂サカス

レストランやショップ、ライブハウスや劇場が集まった街で、広場では色々なイベントが開かれています。サカスの名称は、坂が多い「坂s」、百本の桜を「咲かす」などからつけられました。

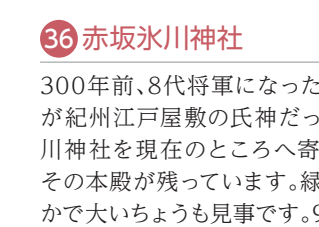


34 TBS

民放第1号のラジオとテレビの兼営局として開局しました。東京放送からTBSとなり、ドラマの6チャンネルとして親しまれてきました。

35 勝海舟邸跡

勝海舟が赤坂で2番目に住んだ邸宅跡です。10年住む間、威風凛々とした邸宅となり、帰国後坂本龍馬と出会い、西部隆盛と会談しました。小さなビルの脇に碑があります。



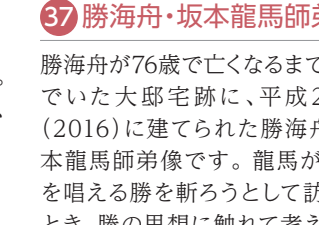
36 赤坂氷川神社

300年前、8代将軍になった吉宗が紀州江戸屋敷の氏神だった氷川神社を現在のところへ寄進し、その本殿が残っています。緑が豊かで大いようも見事です。9月の氷川祭では復活した江戸型山車が巡行し、大いに賑わっています。



37 勝海舟・坂本龍馬師弟像

勝海舟が76歳で亡くなるまで住んでいた邸宅跡に、平成28年(2016)に建てられた勝海舟・坂本龍馬師弟像です。龍馬が開国を唱える勝を斬ろうとして訪れたとき、勝の思想に触れて考えを変え、弟子入りしたという逸話に基づいています。



38 南部坂

忠臣蔵の名場面「南部坂雪の別れ」の場所です。浅野内匠頭の夫人瑠泉院のお屋敷がありました。討ち入り前日に来た大石内蔵助が密偵をごまかすため赤穂に帰ると嘘を言ったのでした。



COURSE B4 乃木坂・青山霊園コース

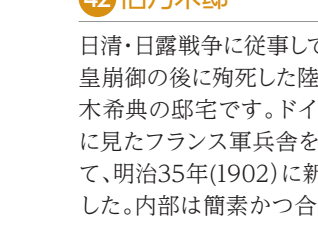
41 乃木神社

乃木将軍夫妻の御霊を祀り、国民崇敬の祠とすることを目的として大正12年(1923)に創建された神社です。乃木邸の隣地を鎮座の地としました。



42 旧乃木邸

日清・日露戦争に従事して、明治天皇崩御の後に殉じた陸軍大将乃木希典の邸宅です。ドイツ留学に見たフランス軍兵舎を参考にして、明治35年(1902)に新築されました。内部は簡素かつ合理的に造られていて、毎年9月13日の命日など数日のみ公開されています。



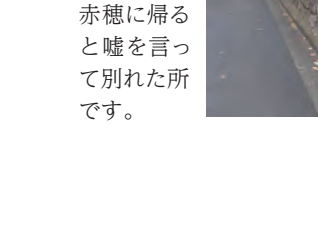
43 青山霊園

明治7年(1874)に開園され、多くの著名人が眠る23区最大の霊園です。日本の近代化に貢献した外国人にも多く眠っています。緑が豊かで美しい桜並木も有名です。



44 梅窓院

寛永20年(1643)、徳川幕府の老中であった青山忠成の四男幸成の菩提寺として青山家の下屋敷内に建立されました。有名人・著名人のお墓が多く、建物は隈研吾の設計による斬新な都市型寺院で、参道は京都の竹林のような趣です。



43 青山霊園

明治7年(1874)に開園され、多くの著名人が眠る23区最大の霊園です。日本の近代化に貢献した外国人にも多く眠っています。緑が豊かで美しい桜並木も有名です。



44 梅窓院

寛永20年(1643)、徳川幕府の老中であった青山忠成の四男幸成の菩提寺として青山家の下屋敷内に建立されました。有名人・著名人のお墓が多く、建物は隈研吾の設計による斬新な都市型寺院で、参道は京都の竹林のような趣です。

